

大垣商議所、田口会頭就任承認

「産官学金で変革」

大垣商工会議所は30日、臨時議員総会を大垣市内のホテルで開き、任期満了(31日)に伴う役員改選を行った。新会頭に田口義隆氏(58)＝セイノーホールディングス社長＝が就く役員選任案を承認した。田口氏は新たなスローガンとして掲げた「スマイル」を示しながら「産官学金がそれぞれ持っているアセット(資産)を生かし、合つことがイノベーション(変革)につながる。笑顔あふれる商議所にしていきたい」と大垣財界の新たな旗手としての所信を語った。

(古家政徳)



手を合わせて意気込みを示す田口義隆新会頭(左から2人目)と副会頭を担う3人＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

副会頭は3人体制。筆頭に竹中裕紀氏(68)＝イビデオン会長＝を新任。工業部長だった浅野圭一氏(61)＝東海サーモ社長＝を新たに選んだ。西脇史雄氏(73)＝大垣西濃信用金庫会長＝は再任された。また、2期6年にわたって会頭を務めた堤俊彦氏(72)＝日本耐酸塩工業会長＝を名誉顧問とすることを決めた。

新正副会頭は総会後に会

見し、田口氏は「大垣地域では産官学金がそれぞれしっかりとした土台を持ち、情報交換も頻度高く濃密に行われている。さらに得意分野を生かし合っている。よつ粉骨碎身、努力していきたい」と語った。

新体制では情報発信力の強化も目標に掲げており、竹中氏は「インターネットの時代。世界に向けた大垣のアピールに尽力できれ

ていきたい」とし、浅野氏は「大垣経済界の伝統を大切に次の世代につないでいきたい」と述べた。新会頭の田口氏は2002年に常議員となり、情報委員長を経て、10年から副会頭を務めていた。